

令和5年3月27日	
資料提供	
担当課(室)	県立学校教育課
担当班・係	教育改革推進班
担当者	藤下、崎山、笠松、脇谷
電話	073-441-3681

串本古座高等学校における「宇宙探究コース」の設置について

令和6年度に設置予定の串本古座高等学校「宇宙探究コース」は、公立高校としては初めての宇宙専門コースであり、既存の教科・科目以外に宇宙に関する科目を設定し、大学や研究機関、宇宙産業関連企業等と連携した探究的な学びを行います。

また、人類の可能性を模索し開発を続ける人々の姿勢や、その探究の足跡に触れることによって、科学への興味・関心や学ぶ意欲を高めるとともに、チャレンジ精神を養い、自己の未来を積極的に切り拓こうとする力を身につけることを目指します。

串本古座高等学校では、令和6年4月の「宇宙探究コース」開設に向けて、本年度、超小型衛星開発の第一人者や、JAXA、スペースワン社をはじめ国内有数の宇宙・教育関係者で構成する「和歌山県宇宙教育検討会議」でご議論いただきながら、カリキュラム等の検討を進めてまいりました。この度、カリキュラム素案を決定いたしましたので、お知らせします。

1. カリキュラム素案

1 年 生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	現代の 国語	言語 文化	地理 総合	歴史 総合	数学Ⅰ		数学A		英語コミュ ニケーションⅠ		化学 基礎	物理 基礎	生物 基礎	体育	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	家庭 基礎	保健	宇宙 探究 基礎	総探	L H R												

2 年 生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	古典探究	公共	数学Ⅱ		数学B		英語コミュ ニケーションⅡ		地学 基礎	化学 日本史探究 世界史探究 地理探究	物理 エッセイ ライティ ングⅠ	体育	保健	情報Ⅰ	宇宙 観測と 利活用 実用 英語	宇宙 ビジネス 探究	宇宙 航空 工学	総探	L H R													

3 年 生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	論理国語	政治・経済	数学Ⅲ		数学C		英語コミュ ニケーションⅢ		体育	情報 探究	化学	物理	衛星データ 分析と 活用	宇宙と 国際 理解	総探	L H R																

■「宇宙」に関する科目 ■総探…総合的な探究の時間

【カリキュラムのポイント】

- 「宇宙」に関する科目を3年間で7～11単位学習する。
- 「宇宙」に関する科目については、新たに採用する専門教員や宇宙教育検討会議委員をはじめとする専門家と連携した授業を行う。
- 総合的な探究の時間や既存の科目においても、宇宙を題材とした学習を取り入れる。
- 国公立・私立大学を中心とした理工系学部を主な進学先に想定しているが、宇宙に関連する観光や経済、国際関係など文系への進学にも対応する。

2. これまでの取組と今後の予定

[R 4年度～R 5年度] カリキュラム・広報戦略の検討、受け入れ環境の整備

[R 4年度入学生から] 総合的な探究の時間に宇宙関連学習を導入

[R 5年度入学生から] 2, 3年生の選択科目に「宇宙」に関する科目を設定

[R 6年度入学生から] 宇宙探究コース開設

(※宇宙関連学習…令和4年度は、宇宙講座(講演会)、「宇宙シンポジウム in 串本」の運営参加、ペットボトルロケットの学習などを実施。)

・令和5年度取組概要

- 「宇宙探究コース」における3年間の学びの体系を構築する。
- 「宇宙」に関する科目の年間指導計画等、詳細な内容を決定する。
- 大学、研究機関等の外部機関との連携体制を構築する。
- 令和6年度生徒募集に向け、Webやパンフレット、体験学習等で広報活動を行う。

3. 令和4年度 和歌山県宇宙教育検討会議について

宇宙探究コースの求める生徒像や育てたい生徒像、3年間のカリキュラムについて助言をいただくとともに、「宇宙」に関する科目については、各委員と連携した授業展開を視野に入れながら、分野やテーマについて検討した。

[日程] 第1回 令和4年5月30日 (串本古座高等学校にて対面開催)

第2回 令和4年11月30日 (オンライン開催)

第3回 令和5年3月6日 (オンライン開催)

※その他、各委員と個別に打合せを実施

[委員]	伊東 千尋	和歌山大学 学長
(五十音順)	遠藤 守	スペースワン株式会社 最高顧問 公益財団法人日本宇宙少年団 専務理事
	尾久土 正己	和歌山大学 観光学部教授
	河本 聡美	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 研究開発部門 第二研究ユニット 研究領域主幹
	富田 晃彦	和歌山大学 教育学部 教職大学院教授
	永崎 将利	Space BD 株式会社 代表取締役社長 共同創業者
	中須賀 真一	東京大学大学院工学系研究科教授 【座長】

・中須賀座長のコメント

宇宙は地球観測・通信・測位などにより様々な地上の問題を解決する可能性を有した世界であると同時に、そこで動作する衛星・ロケット等の開発作業は、多くの分野を統合して複雑なシステムを構築しないといけない、高度な科学技術分野である。

そこにはたくさんの学びの素材があり、青少年にとって関心の高い宇宙を題材として数学・理科・情報・地球環境・ビジネス・国際関係などを広く学び、さらに、生きる力ともいえる問題解決力や粘り強さを鍛えることは、非常に効果的な教育となると信じている。そのためのカリキュラムを検討会議でしっかり議論してきた。